

地域計画の変更案に伴う関係機関からの意見について

意見募集期間 令和7年12月23日（火）から令和8年1月16日（金）

■意見の概要

NO.	該当項目	意見の概要	市の考え方	計画の修正
1	地域計画（案）	1.地域内農業を担う者一覧には、稲作にてha単位で耕作している者の氏名が落ちている方が散見されるが、同意のない為、記載されていないのか対策を検討し記載できる様にした方が正確性が増すかと思う。	地域内農業を担う者一覧に掲載されている方は認定農業者（現・新規・元）や中間管理事業等を通じて農地の貸借契約をされている一部の農業者です。その中には目標地図への掲載を希望されない方もいますが今後も継続的な調整や更新を行い、ブラッシュアップを行います。	なし

地域計画の変更案に伴う意見募集結果について

意見募集期間 令和7年12月23日（火）から令和8年1月16日（金）

■意見の概要

NO.	該当項目	意見の概要	市の考え方	計画の修正
1	農業全般	前回の内容に沿って市の考え方が掲載されていた。内容は中山間直接支払い制度を検討するようにと回答だった。現在、耕作している後閑地区は水路等の管理はメンバーが行っている。個人の耕作地の畦畔の草刈りは耕作者が行う。また廃止した地域は水路および畦畔の草刈りを耕作者が行い、特に水路の管理は地区によって3kmと長く、まして住宅地を通る。このような状況下で集約を進めることは困難だと感じている。畦畔の草刈り、水路のサポートして貰える団体を募っていただきたい。	前回の回答と同様となります。地域及び条件にもありますが中山間直接支払い制度で令和7年度からネットワーク化活動計画も盛り込まれました。そこで草刈り等作業の共同化連携があり、近隣の中山間直接支払い制度を活用している団体とご検討頂きますようお願いします。	なし
2	農業全般	新規就農者や規模拡大したい認定農業者・農業法人に向けて積極的に補助事業などの支援が利用出来るように環境を整えて欲しい。手続きの簡素化や知られていない補助事業などの情報を積極的に伝えるようにしてほしい。	どのように補助金等の情報を案内できるか課題として検討します。	なし
3	農業全般	白井区域で田の耕作面積はわずかしかない。果樹（梅）を専業者としている人は2	獣害対策として市では電気柵等補助金を交付しております。補助に条件等が	なし

		人、他に梅を栽培している人がいるが梅農家としてカウントできない。気候変動は今後10年でどのような影響を安中市に及ぼすのか。この部分を計画に入れないと就農者の延生はない。獣害対策もその一つである。現在10年後を見据えた果樹栽培を始めた。農地の確保、整備、定植等、ビジネスに向けた中期計画を作成している。みかん、梨、イチジク、ブルーベリー、ぶどう等2haを5年計画で植樹、10年後に収穫予定	ありますが検討頂きますようお願いします。	
4	地域計画（案）	①他の県内の市町村の目標地図を見るとベースとなる図面が空中写真（カラー）であったり、縮尺が記載された図面を使っており、一筆毎の農地が明瞭にわかる目標地図が多い。これに対して安中市の目標地図はどのような理由か解らないが、極めて不明瞭な目標地図が農水省のホームページに記載されている。 ②認定農業者等の主要な農地は着色されているが、その他の多くの地区で着色されていない農地があり、地域計画が未完成であって、担い手への農地利用・集積で利用できる	① 目標地図の縮尺については今後、記載します。また目標地図は農業委員会で作成しているため関係機関と協議します。 ② 今後も継続的な調整や更新を行いブラッシュアップを行ってまいります。 ③ 今後、各地区のご意見が集約できるよう協議の場を検討いたします。 ④ 情報の共有については個人情報保護法上、共有することは難しいと考えます。また安中市農林課、農業委員会、土地改良区、区長会、地元	なし

		ような資料となっていない地区が多い。特に都市部、中山間地区でこうした傾向が顕著であって、農地利用・集積に課題が多く今年度以降も継続してブラッシュアップが必至である。 ③昨年 3 月に終了した地域計画・目標地図の作成では、多くの地区で地区協議がほとんど開催されず、耕作者の意向調査と称するアンケート結果を主体に作成したと聞いている。したがって今後は 1 回でもいいので地区の協議の場を設けて地域計画を効率的にブラッシュアップしていただきたい。 ④安中市農林課、農業委員会、土地改良区、区長会、地元 JA 等の各団体の情報が集約できるような常設組織を立ち上げ、各団体で所有している農家・農地情報を集中的に共有して地域計画のブラッシュアップに役立ててほしい。 ⑤安中市や農業委員会の担当者の人員やノウハウが不足している地域、人間関係が希薄な地域では計画策定に十分なリソースを割けず、地域計画で遅	JA 等各団体の常設組織は農業振興地域整備促進協議会がそのような組織と認識しております。 ⑤ ご指摘のとおり全国の市町村でもリソースが不足しているのが現状です。当市でも人員、資金不足は否めないところがあります。ご指摘につきましては今後の課題として承ります。	
--	--	--	--	--

		延が生じやすい。地域計画のブラッシュアップにあたり、民間の農業系コンサルタントに業務委託することも必要ではないか。		
5	農業全般	農業従事者の高齢化、後継者不足から農業をする地域を集約して、残りは工業地域として誘致していく方向にしてほしい。田んぼだけではなく畑にも補助金を出してほしい。	ご意見として承ります。	なし